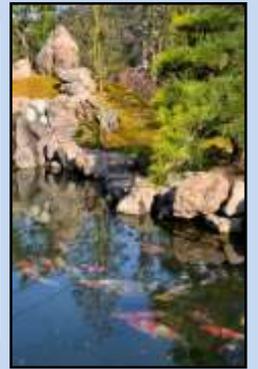




高尾駒木野庭園の錦鯉

錦鯉は、日本でつくられた観賞魚で、「国魚」と言われています。真鯉からわずかな色彩を見だし改良を重ねて美しい姿を作出したもので品種は80種以上あります。その始まりは江戸時代の中期にさかのぼり、発祥は新潟県の山古志地方です。現在では、国内だけでなく外国で愛好家が増えています。大きく育ちその色彩美から「世界最大のガーデンフィッシュ」とも言われ、錦鯉の用語は品種名から専門用語まで日本語で発音されます。カラフルな色彩に魅了され、一部の品種に見られる渋さは「侘／わび・寂／さび」にも通じ、日本文化の「泳ぐ芸術品」として観賞されています。

心字池の錦鯉は、「全日本錦鯉振興会」のご好意により、八王子市に寄贈していただいたものです。



錦鯉の種類 (心字池にいる代表的なもの)



白色の地肌に赤い模様のあるもの。模様の形状により、一段、三段、稲妻、大模様、小模様などと呼ばれる。



紅白に比較的まとまった黒斑点が点散するもの。華麗で女性的な印象が特徴。



大正三色と同じ赤・白・黒の品種ですが、墨が大きく連続した写り墨。男性的な印象が特徴



浅黄地に緋模様を持つ鯉を五色と呼び、浅黄地の濃淡も様々。



全身に金属光沢を持った一色の鯉。「光り無地」の中でも鮮やかな金色の鯉がこの山吹黄金。

上の写真は、模範的なイメージですので実際とは若干異なる模様もあります。

発行 平成24年4月
八王子市公園課・「全日本錦鯉振興会」